

教科名	国語	科目	古典（特進クラス、文系）	単位	4単位
-----	----	----	--------------	----	-----

1. 教科書および副教材

教科書：『精選古典B 新版』（東京書籍）〔高2から継続使用〕

副教材：『2022 共通テスト対策問題集 5 国語古典〔古文・漢文〕』（河合出版）

『大学入学共通テスト演習古典』（いいずな書店）

『わかる・読める・解ける Key&Point 古文単語 330』（いいずな書店）〔高2から継続使用〕

『基礎から解釈へ 新しい古典文法』（桐原書店）〔高2から継続使用〕

『基礎から解釈へ 漢文必携』（桐原書店）〔高2から継続使用〕

『ステップアップノート30 古典文法トレーニング』（河合出版）〔高2から継続使用〕

『ステップアップノート10 漢文句形ドリルと演習』（河合出版）〔高2から継続使用〕

※他にも配布プリント（補助プリント、大学入試過去問改題プリント）を使用

2. 授業の目標および内容

古典読解に必要な基礎的・基本的な知識・技能の定着度や理解度を確認しながら、大学入学共通テスト及び国公立大学個別試験や難関私立大学入学試験に対応する力を養います。具体的な到達目標は、大学入学共通テストにおいて70～80%以上の得点率を目指すことです。

3. 試験について

	1学期		2学期	
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月
学力試験	第1回 6月		第2回 9月	

※内容・評価等について

- ① 定期試験：基本的には、使用テキストの授業範囲内のもので作題しますが、応用問題として初見の文章による出題もします。対象は、大学入学共通テスト、一般入試文系大学レベルで、100点満点の試験を行います。
- ② 学力試験：基礎学力到達度テストから大学入学共通テスト、一般入試文系大学レベルの出題です。古文と漢文の配点比率は、概ね25：25を基本とし、現代文分野と合わせて100点満点で出題します。全てのコース・クラスで同一問題です。

4. 課題・補習について

課題・補習は、生徒の状況を鑑みて実施します。古語や文法等の小テストに不合格の場合には、再テストまたは特別な課題があります。

5. 評価の視点

定期試験の得点を中心とし、平常点を加味し評価します。平常点は、授業への姿勢や課題の提出状況、授業中の小テストなどを参考に算出していきます。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	<p>〔古文〕</p> <p>①過去問・オリジナル問題演習</p> <p>②和歌修辞演習(枕詞・序詞)</p> <p>③問題集を用いた演習</p> <p>〔漢文〕</p> <p>④過去問・オリジナル問題演習</p> <p>⑤問題集を用いた演習</p> <p>〔古文〕</p> <p>①過去問・オリジナル問題演習</p> <p>②和歌修辞演習(掛詞・縁語)</p> <p>③和歌修辞演習(他・総合)</p> <p>④問題集を用いた演習</p> <p>〔漢文〕</p> <p>⑤過去問・オリジナル問題演習</p> <p>⑥問題集を用いた演習</p>	<p>○大学入試センター試験の過去問題や有名出典の文章を用いたオリジナル問題等の演習を通じて、実戦的な読解力を身につけます。</p> <p>○高校1年次に学習した古文の和歌修辞について自ら指摘できるように理論を復習し、実戦的な練習を繰り返します。また、覚えておくことが望ましい修辞については暗記し、読解の助けとします。</p> <p>○問題集は『2022共通テスト対策問題集』(河合出版)を中心に活用し、基本的には入試レベルの単独テキストにおける実戦的読解力を高めます。</p> <p>○定期的な古語テストの実施に加え、理解度に応じて古典文法や漢文句法等の復習を取り入れ、正確な読解に繋がります。</p>	<p>*『古文単語 330』によって基本的に月2回程度古語テストを実施する(章単位50問)。</p> <p>*敬語や連語については定着度により適宜小テストを行う。</p> <p>*古典文法や漢文の句法については定着度により適宜小テストを行う。</p> <p>*夏季講習では、希望者を対象に「共通テスト演習(古文・漢文)」に加え、「『源氏物語』特講」「私大漢文特講」を行います。</p>
2	<p>〔古文〕</p> <p>①過去問・オリジナル問題演習</p> <p>②問題集を用いた演習</p> <p>〔漢文〕</p> <p>③問題集を用いた演習</p> <p>〔古文〕</p> <p>①過去問・オリジナル問題演習</p> <p>②問題集を用いた演習</p> <p>〔漢文〕</p> <p>③問題集を用いた演習</p>	<p>○大学入試センター試験の過去問題や国公立大学過去問題等の演習を通じて、実戦的な読解力を身につけます。なお、国公立大学過去問題については古文を中心に扱います(漢文は夏季講習で扱う)。</p> <p>○問題集は『大学入学共通テスト演習古典』(いづな書店)を中心に活用し、基本的には入試レベルの複数テキストにおける実戦的読解力を高めます。</p> <p>○定期的な古語テストの実施に加え、理解度に応じて古典文法や漢文句法等の復習を取り入れ、正確な読解に繋がります。</p> <p>○入試直前期には、古典文学史について総括し、暗記する部分や覚え方等について把握します。</p>	<p>*『古文単語 330』によって基本的に月2回程度古語テストを実施する(章単位50問)。</p> <p>*敬語や連語については定着度により適宜小テストを行う。</p> <p>*古典文法や漢文の句法については定着度により適宜小テストを行う。</p>